

# 古美術行脚

石井 裕

若い頃から書を中心にして古美術に関心をもち、美術館や博物館に通い名品を鑑賞することが好きであった。

美術の勉強は、書物に頼るだけでなく名品に直接ふれる機会をもつことが最良であると思っただけであり、このことは今も変わっていない。

最近の古美術行脚を紹介し、美術に関心のある方の参考になれば幸いである。

## ○三溪園記念館

横浜三溪園内に原三溪翁を記念して建立された記念館が立派に完成し、その披露を兼ねて記念展が催された。

仏画、工芸、大和絵、書蹟の分野に亘って翁ゆかりの品々の展観であった。

仏画では一字金輪画像、大和絵では地獄草紙絵巻、尾形光琳の伊勢物語、尾形乾山の花籠圖、書蹟では空海筆金剛般若経開題、高野切、桂本万葉集断簡その他名品が数点、第二室には現代日本画の名匠の作品が陳列され近來の眼福に恵まれた。

三溪翁は所蔵の名品を展観し、若き画家達に名品から直接学ぶ機会を与え物心両面からの援助を与えたという。翁が古美術を愛好し日本美術の進展に助力を惜しまれなかったことは特筆すべき業績といえよう。

三溪園は庭園そのものが立派であり、一度は足を運ばれることを勧めたい。

## ○畠山記念館

東京港区白金台のこの記念館は畠山一清翁

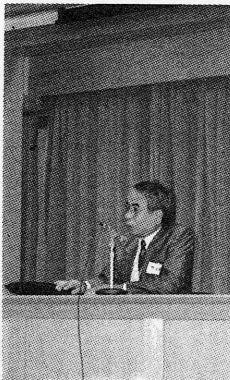
卒業生・文芸学会だより

原 子朗先生をお迎えして

平成元年九月二十四日(日)第二回の文芸学会(卒業生の会)が開催されました。

この会は例年行われる学内での文芸学会の姉妹的な集いとして発足しました。しかし、茅ヶ崎へ移転後、せっかく案内を受けても出席できない卒業生が少なくなかったので、昨年、初めての試みとして卒業生を中心としたこの会が開かれ、好評を博したことは、『文芸論叢』25号で報告されたとおりです。今回も多数の方々のご協力で開催することができました。

講演会は昨年と同じく、横浜の神奈川県立近代文学館で行なわれました。講師には文芸科創設時から茅ヶ崎移転まで在職され、現在は早稲田大学教授で詩人の原子朗先生をお迎えし、宮沢賢治に関する楽しいお話



の藏品を公開する建物で、茶の湯に関心のあ  
る方に勧めたいところである。

この秋の展観では久しぶりに藤原佐理筆の  
離洛帖一幅が展観された。これは佐理の消息  
(手紙)の代表的なもので書を学ぶ者にとつ  
て看過できぬ劇蹟である。茶道具は松平不昧  
公遺愛の名品が展観され、茶入、井戸茶碗な  
ど親しく拝見することができた。

ここは五反田駅から徒歩十五分位で般若苑  
の庭園に隣接し都内としては珍らしく閑寂な  
雰囲気味を味わえる美術館である。

### ○大倉集古館

港区虎ノ門、ホテル大倉に付属するこの建  
物は、大倉喜八郎氏が創立した美術館である。  
今回、伝源俊頼筆の国宝古今和歌集序一卷  
が展観された。この巻物は平安時代のかな書  
きの名品であり、中国から舶載された色変り  
の唐紙たかひに古今集の序文を書写した巻物である。  
ホテル大倉の賑わいにくらべ、この館を見  
学する人々は少なく洵に残念に思われる。

一階の展示室には、国宝木造普賢菩薩騎象  
像(平安時代)が常時展観されているから、  
ついでの節は一覧されることを勧めたい。

### ○五島美術館

世田谷上野毛の五島美術館は五島慶太氏蒐  
集の美術品を展観している美術館である。

春秋は特に優品展と銘うって優品が展観さ  
れる。源氏物語絵巻・紫式部日記絵巻は共に  
国宝で春秋に分けて展観されることが多い。

その他茶道具類も優品が多く、古筆、墨蹟  
古写経の名品も所蔵されている。

手頃な美術館であり庭園を散歩するのも快  
適である。

近く、四月十日から五月二十七日迄、東京  
上野の東京国立博物館で日本国宝展が催され  
る。これは大いに宣伝されると思われるので  
賑わうことが予想される。

足をすこし延ばせば熱海には世界救世教の  
熱海美術館があり、名品にふれる機会に恵ま  
れる。

何ごとよらず関心が深く勉強しようと思え  
ば、案内手近かなところで楽しく学ぶことが  
できる。今回とりあげた所は比較的便利など  
ころであり、一度訪れてみることを勧めたい  
美術館である。

を伺うことができました。

懇親会の参加は五十数名。中華街に場所  
を移し、美味な料理に舌つづみをうちなが  
ら、久しぶりに友人達と再会し、なつかし  
い先生方のお話や諸先輩、後輩の近況など  
を伺い、終始なごやかで楽しいひとときを  
過ごしました。

会の運営も、今はまだ試行錯誤の段階で、  
これからが大変なことだと思えます。しか  
し、私達卒業生と文芸科をつなぐ「生きた  
広場」として、この会が機能し、発展して  
行くことを期待しています。そのためにも  
まだ入会されていない方へどうぞ声をおか  
け下さい。皆さまの一層のご理解とご協力  
を心よりお願いいたします。

[昭和五十二年卒業 三神 享子]

平成元年九月二四日(日)午前十一時

四時 司会 池田裕美子

委員長挨拶 三神 享子

### 【講演】

「世界で読まれている日本文学

―特に宮沢賢治をめぐって―

早稲田大学教授 原 子朗先生

〔懇親会〕横浜中華街「菜香」にて